

「第2次出雲市環境基本計画」の進捗状況

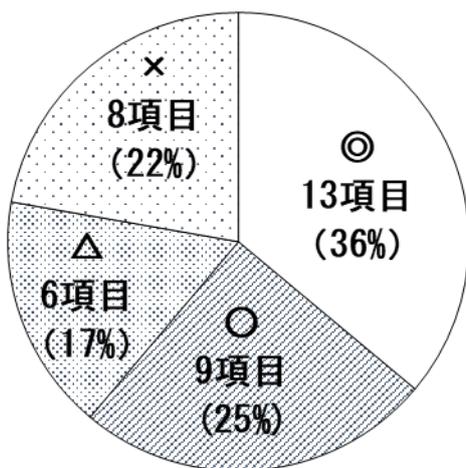
出雲市では、出雲市環境基本条例に基づき、平成 24 年度に「第 2 次出雲市環境基本計画」を策定し（計画期間：H25 年度(2013)～R4 年度(2022)）、平成 30 年度に中間見直しを行ったところです。

本計画の目標達成と持続可能な社会構築のため、施策の実施状況や環境の状況等についてまとめた年次報告書「出雲市環境レポート」を毎年度作成し、本計画の総合的な推進状況について、出雲市環境審議会において点検・評価を行っています。

1. 令和 2 年度の目標達成状況 《参照：p. 2～p. 5、別冊資料「出雲市環境レポート」》

本計画の数値目標 36 項目のうち、大気汚染測定値や自動車騒音の環境基準達成率など 13 項目（36%）が最終目標値（令和 4 年度）に達しました。一方、新型コロナウイルス感染症の影響によりボランティア清掃活動が中止になるなど、未達成項目が増えました。引き続き、最終目標値に達していない項目を中心に、積極的な取組を行う必要があります。

令和 2 年度目標達成状況



	R 元年度	R2 年度
◎：最終目標値に達した	14 項目 (37%)	13 項目 (36%)
○：最終目標値に達していないが、基準年度（平成 23 年度）値より良くなった	12 項目 (32%)	9 項目 (25%)
△：基準年度値より良いが、前年度値より悪くなった	5 項目 (13%)	6 項目 (17%)
×：基準年度値より悪くなった	7 項目 (18%)	8 項目 (22%)

※R2 年度は事業廃止 2 項目を数値目標から除外

2. 出雲市の環境の状況（概要…令和 2 年度）

大気環境では、光化学オキシダント以外は環境基準値を達成しました。

水環境では、下水道の整備や合併処理浄化槽の普及に伴って改善されつつありますが、宍道湖及び神西湖は環境基準を満たしていない状況が続いています。また、令和 2 年度は、平田船川と湯谷川の上流において BOD 値が基準を超過しましたが、これは、気温や降雨量の関係から、河川環境の変化によるものと思われます。

自然環境については、本市では令和 2 年度に市内主要河川に生息する水生生物調査を多伎、湖陵、佐田、出雲地域の河川 25 地点で調査を行い、107 種類の水生生物がみつき、多様な自然が守られていることを確認しました。島根県が行っているガンカモ類調査では、令和 2 年度は宍道湖で 34 千羽余り、神西湖で 1 千 7 百羽余りが確認されました。

松江地方気象台が発表した本市の令和 2 年の年平均気温は 15.5℃で、前年と変わらずでしたが、長期的には上昇傾向にあります。

第 2 次出雲市環境基本計画 基本目標の達成状況

【評価の判断基準】

- ◎ : 最終目標値に達した。
- : 最終目標値に達していないが、基準年度値より良くなった。
- △ : 基準年度値より良いが、前年度より悪くなった。
- × : 基準年度値より悪くなった。
- : 参考指標値であり評価しない。

R3 速報値は、6 月末時点で判明したもののみ記載

1) 澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち (生活環境)

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	R 元年度 実績値	R2 年度 実績値	最終目標値 (R4 年度)	R2 年度 評価	R3 年度 速報値
1-1 大気環境の保全						
大気汚染測定値(SPM) (環境基準 0.10 mg/m ³ 以下) ※SPM:浮遊粒子状物質	0.015 mg/m ³ (H22 年度)	0.012 mg/m ³ (H30 年度)	0.010 mg/m ³ (R 元年度)	環境基準値 0.10 mg/m ³ 以下	◎	0.012 mg/m ³ (R2 年度)
市公用車への低燃費かつ低排出ガス認定車の導入率(導入台数)	(H30 項目見直し)	88% (309 台)	92% (318 台)	100%	○	
1-2 水環境の保全						
類型指定河川水質の環境基準達成率(斐伊川・神戸川上流:河川 AA 類型 BOD1 mg/ℓ以下)(神戸川下流・平田船川・湯谷川:河川 A 類型 BOD2mg/ℓ以下)	100%	100%	57%	100%	×	
類型未指定河川水質の市独自基準達成率 (BOD5 mg/ℓ 以下)	100%	100%	100%	100%	◎	100%
湖沼水質の環境基準達成率 (宍道湖:湖沼 A 類型 COD3 mg/ℓ以下)(神西湖:湖沼 B 類型 COD5 mg/ℓ以下)	0%	0%	0%	100%	×	
海域水質(海水浴場)の市独自基準達成率 (COD2 mg/ℓ 以下)	100%	100%	100%	100%	◎	
廃食用油回収量	47,466ℓ	19,581ℓ	17,372ℓ	17,000ℓ	◎	16,139ℓ
污水処理人口普及率	77.8%	88.2%	88.7%	89.5%	○	89.5%
水洗化率(接続率)	86.6%	91.5%	91.3%	93.5%	△	91.5%
1-3 健康に暮らせる環境の保全						
自動車騒音の環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	◎	100%
航空機騒音の環境基準達成率	100% (H22 年度)	100%	100%	100%	◎	
ダイオキシン類の環境基準達成率	100% (H22 年度)	100% (H30 年度)	100% (R 元年度)	100%	◎	

2) 人と自然がふれあい ともに生きるまち (自然環境)						
目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	R 元年度 実績値	R2 年度 実績値	最終目標値 (R4 年度)	R2 年度 評価	R3 年度 速報値
2-1 野生動物との共生						
ホタルの生息が確認された地区の割合	49% (21 地区)	74% (32 地区)	74% (32 地区)	80% (35 地区)	○	
2-2 豊かな自然とのふれあい						
市主催の自然体験事業の参加者数	10,462 人	10,303 人	5,795 人	14,000 人	×	
自然体験市有施設の利用者数	118,655 人	117,969 人	89,750 人	130,800 人	×	
グリーンツーリズムの受入団体数	6 団体	7 団体	6 団体	8 団体	△	
2-3 森林と農地の保全と再生						
森林整備面積(累計)	40ha	222ha	252ha	170ha	◎	
間伐等実施面積(累計)	420ha	1,274ha	1,413ha	1,400ha	◎	
市産材取扱量	2,700 m ³	9,911 m ³	12,419 m ³	10,000 m ³	◎	13,729 m ³
新規林業就業者数(累計)	1 人	17 人	17 人	12 人	◎	19 人
アグリビジネススクール修了者数(累計)	251 人	494 人	529 人	691 人	○	563 人
学校給食における地場産品の使用割合	35%	51%	50%	60%	△	51%
3) 悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち (快適環境)						
目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	R 元年度 実績値	R2 年度 実績値	最終目標値 (R4 年度)	R2 年度 評価	R3 年度 速報値
3-1 景観保全緑地の確保						
1人当たりの公園面積	18.0 m ²	18.5 m ²	18.5 m ²	17.0 m ²	◎	
3-2 環境美化の推進						
市主催の環境啓発イベント(ポイ捨て一掃大作戦、不法投棄パトロールなど)の参加者数	9,618 人	16,496 人	10,716 人	14,000 人	△	15,522 人
海岸等一斉清掃参加者数	10,013 人	10,028 人	1,840 人	12,000 人	×	7,716 人
美化サポートクラブ登録団体数	29 団体	38 団体	39 団体	50 団体	○	39 団体

4) 地球を考え 地域から実践するまち (地球環境)

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	R 元年度 実績値	R2 年度 実績値	最終目標値 (R4 年度)	R2 年度 評価	R3 年度 速報値
4-1 地球温暖化防止の取組						
市の事務及び事業から発生するCO ₂ 排出量	8,616t-CO ₂ (H22 年度)	7,229t-CO ₂	7,407t -CO ₂	7,500t-CO ₂	◎	
市有施設(事務部門)の電気使用量	10,935,200kWh (H22 年度)	10,284,582kWh	10,358,035 kWh	9,732,300kWh	△	
LED防犯灯の設置基数 (累計)	401 基	4,771 基	5,531 基	5,800 基	○	
再生可能エネルギー導入市有施設数	9 施設	12 施設	12 施設	16 施設	○	12 施設
再生可能エネルギー普及啓発事業への参加者数	0 人	0 人	0 人	150 人	—	H30 年度で事業廃止
学校版エコライフチャレンジしまね登録小中学校割合	100%	100%	終了	参考指標	—	【県事業】 R2 で終了
ISO14001、エコアクション 21 認証取得事業所数	34 事業所	40 事業所	34 事業所	参考指標	—	【県事業】

5) 「もったない」の心で築く 循環型のまち (循環型社会構築)

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	R 元年度 実績値	R2 年度 実績値	最終目標値 (R4 年度)	R2 年度 評価	R3 年度 速報値
5-1 廃棄物対策と資源循環の推進						
ごみ排出量	62,632 t	61,233 t	58,525t	57,602 t	○	58,119 t
ごみ再資源化量 (再資源化率)	12,239 t (19.5%)	7,155 t (11.6%)	5,903t (10.1%)	14,846 t (25.7%)	×	5,375 t (9.1%)
ごみ最終処分量 (最終処分率)	9,104 t (14.5%)	8,971 t (14.5%)	9,294t (15.9%)	7,973 t (13.8%)	×	10,327 t (17.5%)
リサイクル団体回収補助登録団体数	90 団体	83 団体	0 団体	100 団体	—	R 元年度で事業廃止
5-2 環境と経済の好循環の推進						
「しまねエコショップ」登録店舗数	32 店舗	149 店舗	149 団体	参考指標	—	【県事業】
「しまねグリーン製品」登録製品数	44 製品	41 製品	43 製品	参考指標	—	【県事業】

6) とともに学び行動する 環境意識が高いまち（環境保全活動）

目標設定項目	基準年度値 (H23 年度)	R 元年度 実績値	R2 年度 実績値	最終目標値 (R4 年度)	R2 年度 評価	R3 年度 速報値
6-1 環境学習・環境保全活動の推進						
斐川環境学習センターの利用者数	3,841 人	5,105 人	3,908 人	5,000 人	△	4,647 人
ごみ減量化アドバイザー等の派遣回数	83 回	71 回	41 回	100 回	×	47 回
子どもエコクラブ登録団体数	19 団体	8 団体	9 団体	参考指標	—	【別団体事業】
6-2 環境情報の提供と共有						
環境新聞発刊	年 6 回	年 24 回	年 37 回	年 40 回	○	年 44 回

「第2次出雲市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】」の進捗状況

出雲市では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、平成 30 年 2 月に「第 2 次出雲市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】」を策定しました。（計画期間：H30 年度(2018)～R4 年度(2022)）

本計画に基づき、再生可能エネルギーの導入支援を進めるとともに、出雲市地球温暖化対策協議会が中心となって普及啓発活動を実践しています。

これらの取組については、国が CO₂ 排出量を公表する令和 3 年度から、出雲市環境レポートにより出雲市環境審議会に報告し、点検・評価を行っています。

1. 計画の目標

(1) 対象となる温室効果ガス

本市から排出される温室効果ガスの大半を占める CO₂ を削減の対象とする。

(2) 削減目標

	年度	削減目標	
		出雲市	国
基準年度	平成 25 年度 (2013)	—	—
短期目標	令和 4 年度 (2022)	16%以上	—
中期目標	2030 年度	31%以上	4.6%以上 (2.6%以上)
長期目標	2050 年度	80%以上	実質ゼロ (8.0%以上)

※ 国の () 内の数値は、計画策定時の国の目標値

2. 計画の点検・評価

《目標の達成状況（令和元年度）》

CO₂ 排出量：10.1%削減

国が公表している最新の自治体排出量カルテによると、本市の令和元年度の CO₂ 排出量は、1,601 千 t-CO₂ で、第 2 次出雲市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】の基準年度（平成 25 年度）の CO₂ 排出量 1,781 千 t-CO₂ に比べ、約 10.1%（約 180 千 t-CO₂）減となりました。

部門別排出量を見ると、平成 30 年度に増加していた産業部門については、基準年度の数値を下回りましたが、全体の約 44.0%（H25 は 40.9%）を占める結果となりました。

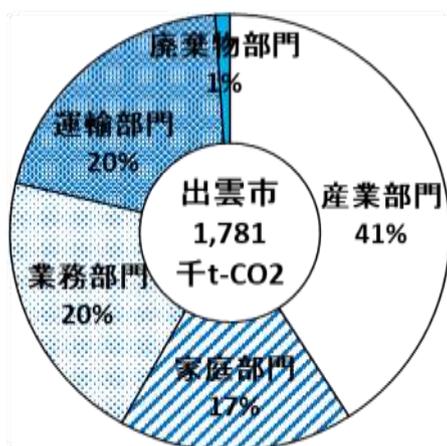
◆出雲市におけるCO₂排出量の現状と比較

(単位：千t-CO₂)

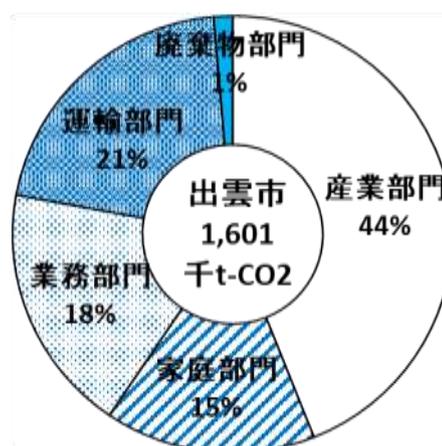
	基準年度 H25(2013)	H30(2018)	R元(2019)	R元(2019) 基準年度比(増減)
産業部門	729	760	704	96.6% (▲ 25)
家庭部門	308	267	248	80.5% (▲ 60)
業務部門	365	291	295	80.8% (▲ 70)
運輸部門	361	338	332	92.0% (▲ 29)
廃棄物部門	19	19	22	115.8% (+ 3)
合計	1,781	1,675	1,601	89.9% (▲180)

◆部門別CO₂排出量の割合

平成25年度



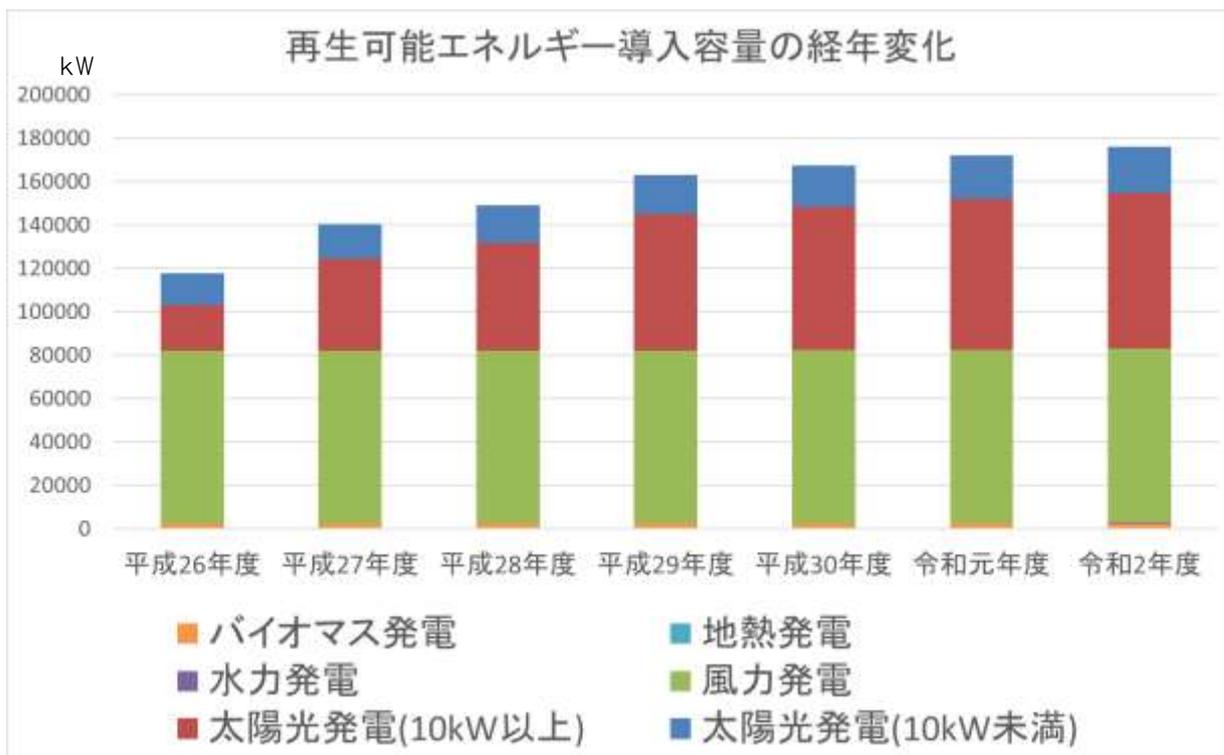
令和元年度



平成25年度		
部門	H25 排出量 (千t-CO ₂)	構成比
産業部門	729	41%
製造業	673	
建設業・鉱業	21	
農林水産業	35	
業務その他部門	365	20%
家庭部門	308	17%
運輸部門	361	20%
自動車	346	
旅客	192	
貨物	154	
鉄道	14	
船舶	1	
廃棄物分野(一般廃棄物)	19	1%
合計	1,781	100%

令和元年度		
部門	H25 排出量 (千t-CO ₂)	構成比
産業部門	704	44%
製造業	654	
建設業・鉱業	16	
農林水産業	34	
業務その他部門	295	18%
家庭部門	248	15%
運輸部門	332	21%
自動車	320	
旅客	178	
貨物	142	
鉄道	11	
船舶	1	
廃棄物分野(一般廃棄物)	22	1%
合計	1,601	100%

◆出雲市における再生可能エネルギー設備容量（FIT 制度）の導入状況



[単位:kW]

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
太陽光発電(10 kW未満)	14,933	15,927	17,292	18,139	18,861	19,932	21,051
太陽光発電(10 kW以上)	20,903	42,349	49,739	62,847	66,191	69,723	71,865
風力発電	79,700	79,700	79,700	79,918	80,035	80,035	80,074
水力発電	0	0	0	0	0	0	600
地熱発電	0	0	0	0	0	0	0
バイオマス発電	2,214	2,214	2,214	2,214	2,214	2,214	2,214
合計	117,750	140,190	148,945	163,118	167,300	171,904	175,803

《再生可能エネルギーによる発電電力量》

[単位:MWh]

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
太陽光発電(10 kW未満)	17,922	19,115	20,753	21,769	22,635	23,921	25,263
太陽光発電(10 kW以上)	27,649	56,018	65,793	83,131	87,554	92,227	95,060
風力発電	173,147	173,147	173,147	173,620	173,874	173,874	173,958
水力発電	0	0	0	0	0	0	3,154
地熱発電	0	0	0	0	0	0	0
バイオマス発電	15,516	15,516	15,516	15,516	15,516	15,516	15,516
合計	234,233	263,795	275,208	294,036	299,579	305,538	312,951
市内の電気使用量	1,489,136	1,698,128	1,485,619	1,622,081	1,573,919	1,656,039	1,656,039
対消費電力 FIT 導入費	15.7%	15.5%	18.5%	18.1%	19.0%	18.4%	18.9%

3. 出雲市役所（事務・事業）の取組

市役所は、「いずもエコオフィス・アクションプログラムⅢ」や「出雲市役所本庁舎における省エネルギー行動計画」を策定し、エネルギー消費の低減を進めています。

(1) 市の事務事業の取組

令和2年度は目標値を達成しましたが、冬の前半に降った大雪や新型コロナウイルス感染症対策の影響により、前年度比では増となりました。

・数値目標の達成状況

目標設定項目（単位）	基準年度値 (H29年度)	実績値 (R元年度)	実績値 (R2年度)	最終目標値 (R4年度)
CO ₂ 総排出量 (t-CO ₂)	7,467	7,064	7,220	7,360

・内訳（使用量）

	目標設定項目（単位）	基準年度値 (H29年度)	実績値 (R元年度)	実績値 (R2年度)	最終目標値 (R4年度)
庁舎関係	電 気 (kWh)	10,020,497	9,991,582	10,025,569	10,330,000
	灯 油 (ℓ)	453,983	327,978	386,247	370,000
	A 重 油 (ℓ)	9,000	2,000	486	7,000
	L P G (m ³)	22,818	20,638	20,660	20,000
	都 市 ガ ス (m ³)	97,352	82,017	79,476	90,000
	ごみ排出量 (kg)	23,091	25,970	24,501	15,000
公用車	ガ ソ リ ン (ℓ)	136,475	129,428	131,354	130,000
	軽 油 (ℓ)	7,212	5,503	6,335	7,000

(2) 市職員のマイカー通勤自粛の取組

職員の率先行動として、毎月第3週を「市職員エコ通勤ウィーク」と定め、徒歩、自転車、バイク、公共交通機関利用によるエコ通勤を呼びかけています。

令和3年度は、「乗り合わせ」による通勤方法を推奨し、前年度よりCO₂削減量が増加したものの、最終目標値を達成することができませんでした。全職員が一丸となり、さらに取組を推進します。

・数値目標の達成状況

目標設定項目（単位）	実績値 (R元年度)	実績値 (R2年度)	実績値 (R3年度)	最終目標値 (R4年度)
CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	95,566	119,259	134,600	200,000
目標達成率	47.8%	59.6%	67.3%	

出雲市環境総合計画の策定について

1. 計画策定の趣旨・概要

令和4年度までの計画である現行の「出雲市環境基本計画」と「出雲市地球温暖化対策実行計画」を統合し、今後の市の総合的な環境政策、ゼロカーボンシティ推進の方向性を示す「出雲市環境総合計画」を今年度策定します。

	出雲市環境基本計画	出雲市地球温暖化対策実行計画
現行計画期間	第2次出雲市環境基本計画 H25(2013)～R4(2022)	第2次出雲市地球温暖化対策実行計画 H30(2018)～R4(2022)
根拠法令	出雲市環境基本条例	地球温暖化対策の推進に関する法律 (努力義務)



上記2計画を統合

出雲市環境総合計画

2. 計画の期間

令和5年度(2023)～令和12年度(2030) 8年間

※ 令和8年度(2026)：中間見直し

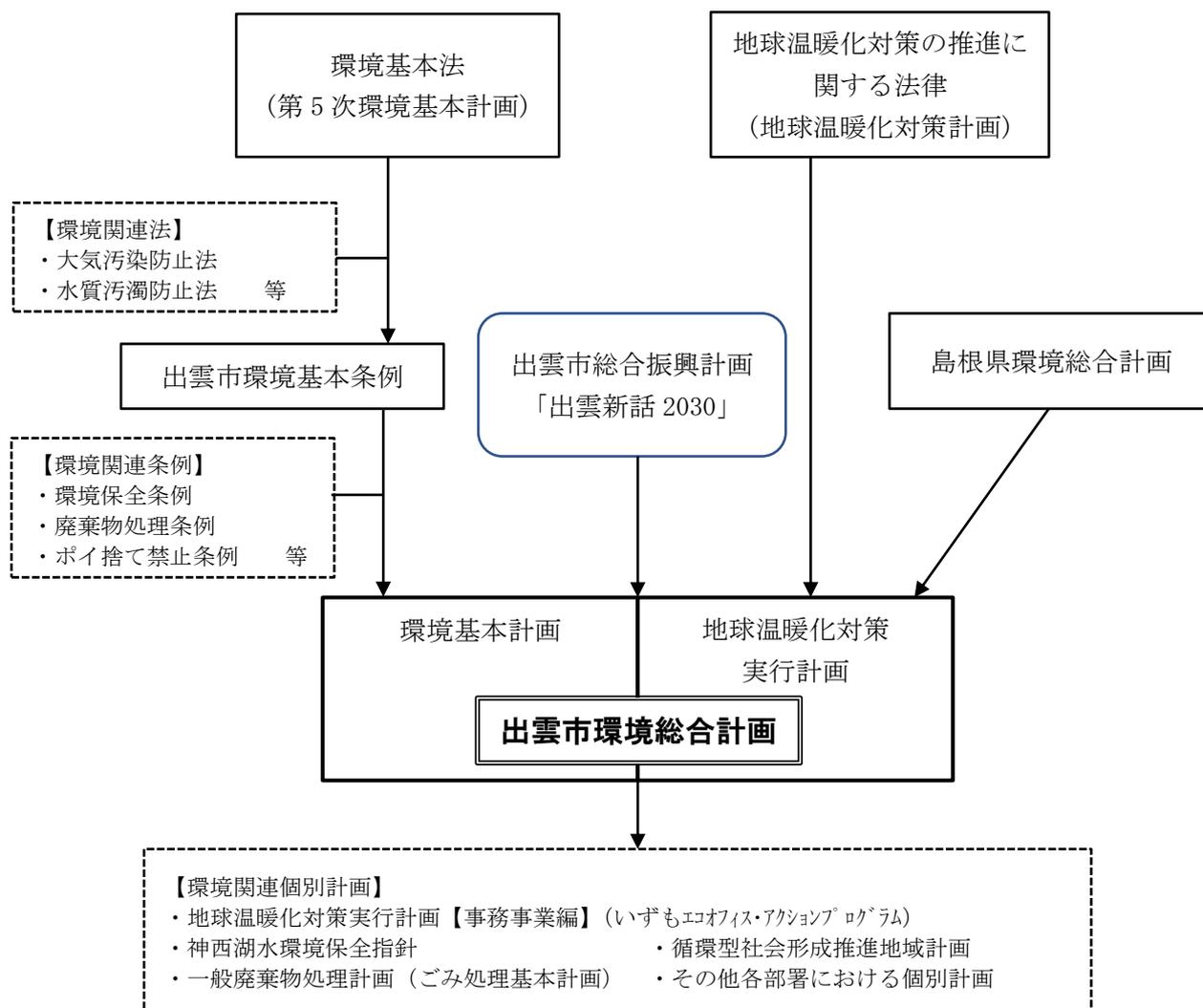
3. 経緯

年	国・県の主な動き	出雲市	
		環境基本計画	地球温暖化対策実行計画
H18		環境基本条例施行	
H19		環境基本計画【第1次】 H19～H28	地域省エネルギー ビジョン H20～H28
H20			
H21			
H22			
H23			
H24			
H25			
H26		環境基本計画【第2次】 H25～R4	地球温暖化対策実行計画【第2次】 H30～R4
H27	「持続可能な開発目標(SDGs)」採択		
H28	パリ協定発効		
H29			
H30		・中間見直し	
R1			
R2	国：2050年までのカーボンニュートラル宣言		
R3	県：環境総合計画策定 国：2030年度にCO2を46%削減を宣言		
R4			

4. 策定の基本方針

- (1) CO2 排出削減量や個別施策の目標を明確にし、市の施策及び市民、事業者の環境に配慮した行動の指針となるものとする。
- (2) 2050 年までの脱炭素社会実現を見据えて、再生可能エネルギー導入に係る目標を明確にする。
- (3) 課題や方針、目標等を明確に理解していただくため、“見える化”を念頭に置いた計画とする。
- (4) 市の環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進するためのものとする。
- (5) 市の環境に関する個別計画の中心・基盤となるものとする。
- (6) 計画の期間は、令和 12 年度(2030)までの 8 年間とし、中間年度(令和 8 年度)に見直すことで、PDCA サイクルシステムを取り入れたものとする。
- (7) 国の環境基本計画や地球温暖化対策計画、県の環境総合計画、本市の総合振興計画のほか、環境関係法令と整合性をとったものとする。
- (8) 写真、絵、図表の活用等により、簡潔でわかりやすいものとする。

《環境関係法体系》



《参考：第2次出雲市環境基本計画 施策の体系》

環境の将来像：神話から未来へつなぐ さわやかな環境のまち・出雲

基本目標	施策の柱	推進する施策
1 澄んだ空気ときれいな 水に潤い健康に暮ら せるまち 【生活環境】	1-1 大気環境の保全	1-1-① 車などの排気ガスの削減
		1-1-② 大気汚染の防止
	1-2 水環境の保全	1-2-① 水域への排水対策
		1-2-② 水辺環境の保全
		1-2-③ 海域環境の保全
		1-2-④ 広域連携による水質浄化の推進
1-3 健康に暮らせる環境の 保全	1-3-① 騒音・振動・悪臭の防止	
	1-3-② 住みよい暮らしづくり	
2 人と自然がふれあい ともに生きるまち 【自然環境】	2-1 野生動植物との共生	2-1-① トキと人との共生可能な環境づくり
		2-1-② 生態系を守る取組
	2-2 豊かな自然とのふれあい	2-2-① 自然環境の保全
		2-2-② 自然とのふれあいの機会の創出
	2-3 森林と農地の保全と再生	2-3-① 森林を守り育てる取組 [重点プロジェクト]
		2-3-② 農地の適正管理と活用
2-3-③ 里山の保全と有効な活用		
3 悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち 【快適環境】	3-1 景観保全と緑地の保全	3-1-① 自然・歴史的景観の保全と活用
		3-1-② 花と緑の確保
		3-1-③ 公園の整備と利用促進
	3-2 環境美化の推進	3-2-① ポイ捨て・不法投棄への取組
		3-2-② 清掃活動の充実
4 地球を考え 地域から実践するまち 【地球環境】	4-1 地球温暖化防止の取組	4-1-① 温室効果ガス抑制への取組 [重点プロジェクト]
		4-1-② 再生可能エネルギーの普及と利用促進 [重点プロジェクト]
		4-1-③ 危機意識を高めるための取組
	4-2 地球規模での環境問題へ の取組	4-2-① オゾン層を守る取組
		4-2-② 他国からの漂着ごみへの対応
	5 「もったいない」の心で 築く循環型のまち 【循環型社会構築】	5-1 廃棄物対策と資源循環の 推進
5-1-② 廃棄物の適正処理の推進		
5-2 環境と経済の好循環の推進		5-2-① 環境に優しい製品の普及と利用促進
		5-2-② 環境啓発イベントの推進
6 とともに学び行動する 環境意識が高いまち 【環境保全活動】	6-1 環境学習・環境保全活動 の推進	6-1-① 学校や地域での環境学習機会の充実
		6-1-② 環境保全活動の推進
		6-1-③ 環境マネジメントシステム普及への取組
	6-2 環境情報の提供と共有	6-2-① 環境情報提供の充実
		6-2-② 環境啓発イベントの推進

《参考:第2次出雲市地球温暖化対策実行計画 施策の体系》

目指す環境像 : 一人ひとりが地球の未来を考え 地域から実践するまち

基本方針	推進する施策
情報提供・ 環境教育の推進	【情報提供の推進】 ・市民、事業者に向けたセミナー、イベントの開催 ・情報提供と取組効果の公表
	【環境教育の推進】 ・環境講座の開催と学校における環境教育の推進 ・地域の活動拠点を活用した環境学習の実施 ・「こどもエコクラブ」の活動推進
	【住民団体との連携・育成】 ・市、事業者及び環境 NPO との協働
低炭素社会の推進	【省エネルギーの取組の推進】 ・市民運動の推進 ・CO ₂ 排出量の少ない交通移動手段の利用促進
	【省エネルギー機器等の導入】 ・省エネルギー機器等の導入促進 ・家庭、事業所における省エネルギー診断の推進 ・ESCO(エスコ)事業等の導入促進 ・市内の環境関連企業との連携
	【再生可能エネルギーの導入】 ・再生可能エネルギーの導入支援 ・木質バイオマスの利用促進 ・次期可燃ごみ処理施設での高効率発電 ・J-クレジット制度の活用
	【森林保全と活用】 ・造林事業の推進 ・環境保全型農業への支援 ・緑地の保全への支援 ・(仮称)森林環境譲与税の活用
	【環境マネジメントシステムの普及促進】 ・事業所における「エコアクション 21」等の普及 ・「エコライフチャレンジしまね」「学校版エコライフチャレンジしまね」の普及 ・「いずもエコオフィス・アクションプログラム」の運用
循環型社会の推進	【3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取組の促進】 ・ごみ減量化の推進 ・ごみ再資源化の推進 ・グリーン購入の推進 ・「しまねエコショップ」「しまねグリーン製品」の利用促進

出雲市環境総合計画に係る計画構成（案）

第 2 次出雲市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】

計画構成	
第 1 章	計画策定の背景と意義
1-1	計画策定の背景
1-2	計画策定の目的
第 2 章	出雲市の姿
2-1	位置
2-2	自然条件
2-3	社会条件
2-4	これまでの取組
第 3 章	市民・事業者への意識調査の結果
3-1	意識調査の目的
3-2	意識調査の概要
3-3	調査結果の分析
第 4 章	CO2 排出量の現状
4-1	CO2 排出量の算定方法
4-2	CO2 排出量の推移
第 5 章	CO2 排出量の将来推計と削減目標
5-1	現状趨勢ケース
5-2	対策実施ケース
5-3	削減目標
第 6 章	地球温暖化防止のための取組
6-1	施策体系
6-2	具体的な施策
6-3	地球温暖化への適応策
第 7 章	計画の推進
7-1	計画の推進に向けて
7-2	進捗管理

出雲市環境総合計画（案）

計画構成	備考
第 1 章 基本的な考え方	
1. 計画策定の趣旨	趣旨、目的、背景
2. 計画の位置づけ	関連法令・関連計画との関係、計画期間（令和 5（2023）年度～令和 12（2030）年度）
3. 計画の対象	出雲市環境基本条例に基づく 5 つの分野（生活環境、自然環境、快適環境、地球環境、循環型社会構築）+ 環境保全活動
4. SDGs への対応	本計画における SDGs に対する姿勢や対応
第 2 章 環境をめぐる動き	
1. 国内外の動き	SDGs、パリ協定、C O P 2 6、脱炭素ロードマップ、第 5 次環境基本計画、地球温暖化対策計画、エネルギー基本計画 食品ロスの削減の推進に関する法律、プラスチックに係る資源循環の促進法 など
2. 市の動き	島根半島宍道湖中海ジオパーク、ゼロカーボンシティ宣言、地域新電力会社設立、新エネルギーセンター稼働開始など
第 3 章 出雲市の環境	
1. 出雲市の概況	自然条件（地勢、気候等）、社会条件（人口・世帯、産業構造等）
2. 前計画に掲げる数値目標の達成状況	目標の達成状況、結果の分析、出雲市環境レポート
3. 市民・事業者の環境に対する意識	市民・事業者・高校生アンケートの結果
4. 出雲市の環境課題	数値目標の達成状況やアンケート調査の結果を踏まえ、基本目標ごとに課題を整理
第 4 章 環境の将来像と基本目標	
1. 環境の将来像	現行計画：「神話から未来へつなぐ さわやかな環境のまち・出雲」 （現行計画） 【生活環境】澄んだ空気ときれいな水に潤い 健康に暮らせるまち【自然環境】人と自然がふれあい ともに生きるまち 【快適環境】悠久の歴史が息づく 美観と快適空間のまち 【地球環境】地球を考え 地域から実践するまち 【循環型社会】「もったいない」の心で築く循環型のまち【環境活動・学習】ともに学び行動する 環境意識が高いまち
2. 基本目標	
第 5 章 施策の推進	
1. 施策の体系	施策の体系図、重点プロジェクトの提示
2. 施策の推進	SDGs の関連性を示す、次期総合振興計画との整合性、デジタル推進との関係性を検討
1) 生活環境	神西湖環境回復プロジェクト
2) 自然環境	トキによるまちづくり構想、島根半島・宍道湖中海ジオパーク、森林環境譲与税の活用
3) 快適環境	日本遺産登録「日が沈む聖地出雲」、築地松景観保全
4) 地球環境	地球温暖化対策実行計画【区域施策編】 1. CO2 排出量、吸収量の現状及び推移 2. CO2 排出量、吸収量の将来推計 3. CO2 排出量の削減目標の設定（短期 2030 年、中期 2040 年、長期 2050 年） 4. 再生可能エネルギーの導入状況及び推移 5. 再生可能エネルギーのポテンシャルの算定 6. 再生可能エネルギーの導入目標の設定（短期 2030 年、中期 2040 年、長期 2050 年） 7. 将来ビジョン、脱炭素シナリオ 8. 地球温暖化防止のための取組 （1）施策体系 （2）具体的な施策 （3）気候変動への適応策
5) 循環型社会	新出雲エネルギーセンター、ごみ処理基本計画、フードロス、プラスチックに係る資源循環促進法、3 R
6) 環境活動・学習	COOL CHOICE の推進、次世代エネルギーパーク、環境学習施設、出雲エコなび、ゼロカーボンアクション 3 0
3. 地域別配慮方針の検討	地域ごとの環境特性を示し、重点的に取り組む施策等について整理
第 6 章 計画の推進	
1. 推進体制	市・市民・事業者が一体となった計画の推進
2. 進行管理	PDCA サイクルによる計画の進行管理

計画策定のプロセス・スケジュール

1. 策定プロセス

(1) 審議等機関

① 出雲市環境審議会

計画策定について諮問し、答申を受ける。

策定までに計 4 回の会議開催予定

(7 月 6 日、9 月下旬、11 月上旬、2 月上旬)

② 出雲市地球温暖化対策協議会

計画内容について意見聴取

策定までに計 2 回の会議開催予定

(10 月上旬、11 月中旬)

(2) 市民・事業者の意見の反映

① 市民、事業者の意識調査の実施（アンケート調査）

② 事業者へのヒアリングの実施

③ 市民ワークショップの実施

④ パブリックコメントの実施

(3) 出雲市議会

R4 年度 12 月議会 (R4. 12 月開催)	環境総合計画（素案）を提示・説明
R4 年度 3 月議会 (R5. 3 月開催)	環境総合計画（案）を提示・説明

※ 環境経済委員会、資源政策推進特別委員会との意見交換（11 月開催予定）

(4) 庁内体制

① 出雲市ゼロカーボンシティ推進本部の設置

環境総合計画の策定・推進に関し、全庁横断的に必要事項を検討する推進本部を置く。(R4. 6. 3 設置)

本部長：市長

副本部長：副市長・教育長・上下水道事業管理者

本部長：部局長

② 出雲市ゼロカーボンシティ推進ワーキンググループの設置

推進本部の下部組織として、次の 3 つの施策ごとに検討するための職員によるワーキンググループを置く。

・家庭におけるゼロカーボンの実現

・産業部門におけるゼロカーボンの実現

・公共施設におけるゼロカーボンの実現

2. 策定スケジュール

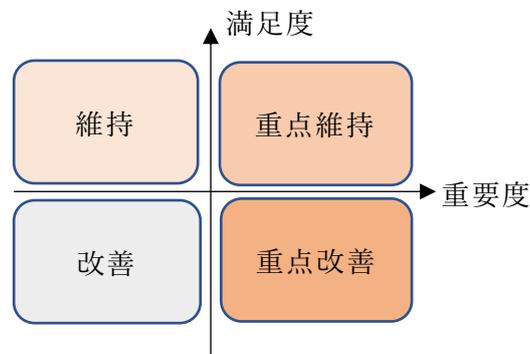
		環境審議会等	計画策定工程	その他
7月	6日	第1回環境審議会 ・諮問 ・現行計画の進捗状況、検証 ・計画策定の趣旨、概要等 ・計画構成の検討 ・策定のプロセス、スケジュール ・市民・事業者アンケート調査等の検討	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎調査、情報収集 ●現状分析 ●課題整理 ●温室効果ガス排出量等推計 ●再エネポテンシャルの算定 	(6/3)第1回庁内推進本部会議
	中旬 下旬			
8月	中旬 下旬		<ul style="list-style-type: none"> ●市民アンケート調査 ●事業所アンケート調査 ●事業所ヒアリング ●市民ワークショップ 	
	中旬 下旬			
9月	中旬 下旬	第2回環境審議会 ・委員委嘱、会長・副会長選出 ・アンケート調査等の結果報告 ・環境の現状と課題 (現行計画の進捗状況、検証) ・環境の将来像、基本目標の検討 ・施策体系、推進する施策の検討 ・数値目標の検討		
	中旬 下旬			
10月	中旬 下旬	第1回地球温暖化対策協議会 (基本目標、施策、数値目標等について意見交換)	<ul style="list-style-type: none"> ●計画の策定 ・推進施策の検討 ・目標の検討 ・CO2排出量削減目標検討 ・再エネ導入目標検討 ・推進・進行管理体制検討 	第2回庁内推進本部会議
	中旬 下旬			
11月	中旬 下旬	第3回環境審議会 ・計画(素案)の審議 ・パブリックコメント実施の検討 第2回地球温暖化対策協議会 (計画(素案)について意見交換) 市議会環境経済委員会、資源政策推進特別委員会との意見交換		
	中旬 下旬			
12月	中旬 下旬	市議会説明「計画素案」	パブリックコメント (30日間)	
	中旬 下旬			
1月	中旬 下旬			第3回庁内推進本部会議
	中旬 下旬			
2月	中旬 下旬	第4回環境審議会 ・計画(案)の審議 答申		
	中旬 下旬			
3月	中旬 下旬	市議会説明「計画案」		
	中旬 下旬			

出雲市環境総合計画に係る市民・事業者アンケート

1. 目的

- 第2次出雲市環境基本計画、第2次出雲市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の意識調査からの変化を把握する。
- 環境基本計画の6つの基本目標の「重要度」と「満足度」を把握する。
⇒マトリックスの分布で基本目標を評価する。
- 第2次（区域施策編）からの省エネの取組の進展を確認する。
- 現状の再エネ、省エネポテンシャルを把握する。

■マトリックスによる基本目標の評価イメージ



2. 調査対象

	市民	事業所	高校生
対象者	1,000人 (地域別・年齢別(18歳以上)に層化抽出で選定)	400社 (商工会議所、商工会会員名簿より、産業分類別、従業員規模別に選定)	約1,000人 (高校1～3年生×8 高校×3クラス)
時期	7月下旬	7月下旬	9月下旬

- 高校生アンケートは、計画骨子がまとまった時点で、施策内容を評価してもらう形でのアンケートを実施する。
- アンケートにあわせワークショップ（意見交換会）の開催を知らせ、参加申込用紙を同封し募集する。

3. 設問構成の検討

①市民

●：今回（R4 環境総合計画）質問する設問 ○：今回は質問しない、又は他の設問と統合

項目	設問	H25 環境 基本	H30 温対 実行	R4 環境 総合	備考
1.属性	・年代、性別、職業、世帯人数、地域、住居形態 選択肢を設定し単一回答	●	●	●	クロス集計・分析に利用
2.基本方針の評価					
①環境に対する満足度	・生活環境、自然環境、快適環境 ・地球環境、循環型社会	●		●	地球環境、循環型社会を追加する。 重要度を追加。満足度とのマトリックス図で基本目標の優先度を評価する。
②環境に対する重要度	・5段階(満足、やや満足、どちらでもない、やや不満、不満)で評価し単一回答			●	
地球環境問題への関心	・地球規模での環境問題への関心度 (地球温暖化、オゾン層、酸性雨等)	○	○		他の基本目標同様、満足度・重要度を確認する。⇒2.①②「環境に対する満足度・重要度」に統合
環境の将来像	・回答者が考える出雲の環境の将来像 8つの設定された将来像を複数回答	○			アンケートの市民の環境に対する重要度の結果や審議会等の意見を踏まえて検討する。 ⇒2.②にて把握
3.環境にやさしい取組					
①環境に優しい取組	・省エネ行動、省エネ機器導入、再エネ機器導入、ごみ減量、リサイクル、清掃活動などの取組実態を聞く。	●	●	●	市民の行動変容を促す要因の分析 施策に係る「市民の行動指針」の検討
②COOL CHOICE ※1	・COOL CHOICE に関して取組実態を聞く。		○	●	COOL CHOICE の促進に向けた施策の検討 ⇒3.①に追加する。
③環境保全活動への市民参加について	・参加意向:6段階で単一回答 ・参加したいと思わない理由:5項目の複数回答	●		●	市民による環境保全活動の現状、行動変容に向けた課題の把握

項目	設問	H25 環境 基本	H30 温対 実行	R4 環境 総合	備考
4.脱炭素社会に向けた取組					
省エネへの意識	<ul style="list-style-type: none"> 省エネに対するイメージ 家庭内での省エネ対策の状況 今後の省エネ対策への意向 省エネを実行できている理由 	○		●	省エネ行動の実施状況・意向・実施理由は、「環境に優しい取組」で確認する。 ⇒3.①
省エネを進める上で必要な取組	<ul style="list-style-type: none"> 社会全体で省エネ対策を進める各取組の重要性:4段階単一回答 	○	○	●	行政による取組が主であり、「市への期待」に統合⇒5.④
①省エネ・再エネ機器等の導入	<ul style="list-style-type: none"> 機器の導入意向:4段階(導入している、導入を検討している、導入するつもりはない、わからない)の単一回答 太陽光発電、蓄電池、省エネ住宅など 		●	●	機器導入による省エネ・再エネのポテンシャル分析、導入を促進する施策の検討
資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量や資源の有効利用に関して取り組んでいること 		○	●	環境に優しい取組に統合⇒3.①
①-2 ZEH化 ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> ZEH化の意向:4段階の単一回答 ZEH化に必要な施策:選択肢を設け複数回答 			●	ZEH化による省エネ・再エネポテンシャルの分析、導入を促進する施策の検討⇒4.①に含める。
①-3 PPA ^{※3} の意向	<ul style="list-style-type: none"> PPAの意向:4段階の単一回答 PPA導入に必要な施策:選択肢を設け複数回答 			●	PPAによる再エネポテンシャルの分析、導入を促進する施策の検討⇒4.①に含める
①-4 EV(電気自動車)導入の意向	<ul style="list-style-type: none"> EV導入の意向:4段階の単一回答 EV導入に必要な施策:選択肢を設け複数回答 			●	EV導入による省エネポテンシャルの分析、導入を促進する施策の検討⇒4.①に含める
①-5 再エネ100%電力 ^{※4} 契約意向	<ul style="list-style-type: none"> 再エネ100%電力への契約意向:4段階の単一回答 契約促進に必要な施策:選択肢を設け複数回答 			●	再エネ100%電気の普及ポテンシャルの分析、契約を促進する施策の検討⇒4.①に含める。

項目	設問	H25 環境 基本	H30 温対 実行	R4 環境 総合	備考
①-6 ソーラーシェアリング導入意向	<ul style="list-style-type: none"> 畑地の所有、面積、農地の状況(営農中、耕作放棄地(再生可能・再生困難)、電力需要の有無(農産加工、水耕栽培、自宅利用等)) ソーラーシェアリングの意向:4段階の単一回答 導入促進に必要な施策:選択肢を設け複数回答 			●	基礎的な情報の収集 ソーラーシェアリングのポテンシャルの分析導入を促進する施策の検討⇒4.①に含める。
②再生可能エネルギーに対する考え	<ul style="list-style-type: none"> 出雲市内で実施すると良い再生可能エネルギー利用は何か(太陽光、風力、廃棄物、水力、バイオマス等):複数回答 			●	市民の再エネの認知度、再エネ利用実施に対する許容度を分析する。再エネ利用実施にあたっての留意点を把握する。
再生可能エネルギーの認知度	<ul style="list-style-type: none"> 再エネを知っているか 知っている再生可能エネルギー 		○	●	「再生可能エネルギーに対する考え」で、各再エネに関する情報を提供した上で、導入に対する市民の考えを確認する。⇒4.②
5.環境総合計画の施策検討					
①情報の入手方法	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する情報をどこで得たいと思うか。情報提供の方法を複数提示し、複数回答 自由記述 			●	市民が希望する情報の入手方法を確認し、効果的な情報発信のツールを検討する。
地球温暖化対策に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> 「地域や市民」、「行政」がそれぞれ取り組むべきこと 		○	●	「市民が取り組むべきこと」「事業者への期待」、「行政への期待」に統合⇒5.②③④
②市民が取り組むべきこと	<ul style="list-style-type: none"> 市民の取組事例を示し、複数回答 			●	市民の取組の優先度を把握する。市民の取組を支援する施策を検討する。
③事業者への期待	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の取組事例を示し、複数回答 	●		●	事業者の取組の優先度を把握する、事業者の取組を支援する施策を検討する。
④市への期待	<ul style="list-style-type: none"> 市の取組事例を示し、複数回答 	●		●	市の取組の優先度を把握する。市の施策について検討する。

項目	設問	H25 環境 基本	H30 温対 実行	R4 環境 総合	備考
⑤ 地域活動団体への期待	・ 地域活動団体の取組事例を示し、複数回答			●	自治協会、NPO等の取組の優先度を把握する。地域活動団体の取組を支援する施策を検討する。

②事業所

●：今回（R4環境総合計画）質問する設問 ○：今回は質問しない、又は他の設問と統合

項目	設問	H30 温対 実行	R4 環境 総合	備考
1.属性	・ 業種、従業員数、建物の種類、省エネ法における特定事業者の該当	●	●	クロス集計・分析に利用
2.基本方針の評価				
①環境に対する満足度	・ 生活環境、自然環境、快適環境 ・ 地球環境、循環型社会		●	地球環境、循環型社会を追加する。
②環境に対する重要度	・ 5段階（満足、やや満足、どちらでもない、やや不満、不満）で評価し単一回答		●	重要度を追加。満足度とのマトリックス図で基本目標の優先度を評価する。
3.環境にやさしい取組				
①環境にやさしい取組	・ 省エネ行動 ・ ごみ減量、リサイクル、清掃活動などの取組実態を聞く。		●	事業者の行動変容を促す要因の分析 施策に係る「事業者の行動指針」の検討
①-2 フードロス	・ 食品の取扱いの有無、業種の詳細 ・ フードロスに対する取組状況、取り組んでいない理由		●	フードロスに関する取組の把握、フードロスの取組促進のための施策の検討⇒3.①
4.脱炭素社会に向けた取組				
①省エネ・再エネ機器等の導入	・ 機器の導入意向：4段階（導入している、導入を検討している、導入するつもりはない、わからない）の単一回答 太陽光発電、蓄電池、省エネ建物など ・ 省エネ、再エネ機器導入の問題点		●	・ 機器導入による省エネ、再エネのポテンシャル分析、導入を促進する施策の検討

項目	設問	H30 温対 実行	R4 環境 総合	備考
地球温暖化対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化対策への関心度:5 段階の単一回答 ・ COOL CHOICE の認知度:3 段階の単一回答 取組内容:5 選択肢の複数回答 ・ EMS の導入状況:7 選択肢の単一回答 導入していない理由:5 選択肢の単一回答 ・ 環境問題に対する情報の入手方法:4 選択肢の複数回答 ・ 省エネの取組意欲:6 選択肢の単一回答 省エネの問題点:4 選択肢の複数回答 省エネ診断の受診:3 選択肢の単一回答 ・ 再エネ導入の考え:5 選択肢の単一回答 再エネ導入の問題点:6 選択肢の単一回答 ・ 資源の有効利用への考え方:6 選択肢の単一回答 	○	●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球温暖化対策への関心度:5 段階の単一回答 ・ COOL CHOICE の認知度⇒3.① 取組内容⇒3.① ・ EMS の導入状況⇒3.① 導入していない理由⇒3.① ・ 環境問題に対する情報の入手方法⇒5.① ・ 省エネの取組意欲⇒3.① 省エネの問題点⇒3.① 省エネ診断の受診⇒3.① ・ 再エネ導入の考え⇒4.① 再エネ導入の問題点⇒4.① ・ 資源の有効利用への考え方⇒3.①
地球温暖化対策の取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネ活動について 設備導入:22 項目設定、5 段階選択の単一回答 運用面 :11 項目設定、5 段階選択の単一回答 ・ 自動車・輸送での取組について 設備、運用面:6 項目設定、5 段階選択単一回答 ・ 再エネ、資源有効利用について 設備導入:5 項目設定、5 段階選択の単一回答 運用面 :11 項目設定、5 段階選択の単一回答 	○	●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 省エネ活動について⇒4.① ・ 自動車・輸送での取組について⇒4.① ・ 再エネ⇒4.①、 資源有効利用⇒3.①
①-2 ZEB 化 ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> ・ ZEB 化の意向:4 段階の単一回答 ・ ZEB 化に必要な施策:選択肢を設け複数回答 		●	ZEB 化による省エネポテンシャルの分析、導入を促進する施策の検討⇒4.①に含める

項目	設問	H30 温対 実行	R4 環境 総合	備考
①-3 PPA の意向	<ul style="list-style-type: none"> PPA の意向:4 段階の単一回答 PPA 導入に必要な施策:選択肢を設け複数回答 		●	PPA による省エネポテンシャルの分析、導入を促進する施策の検討⇒4.①に含める。
①-4 EV 導入の意向	<ul style="list-style-type: none"> EV 導入の意向:4 段階の単一回答 EV 導入に必要な施策:選択肢を設け複数回答 		●	EV 導入による省エネポテンシャルの分析、導入を促進する施策の検討⇒4.①に含める。
①-5 再エネ 100% 電力の意向	<ul style="list-style-type: none"> 再エネ 100%電力への契約意向:4 段階の単一回答 契約促進に必要な施策:選択肢を設け複数回答 		●	再エネ 100%電気の普及ポテンシャルの分析、契約を促進する施策の検討⇒4.①に含める。
5.推進施策				
① 情報の入手方法	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する情報をどこで得たいと思うか。 情報提供の方法を複数提示し、複数回答 自由記述 		●	事業者が希望する情報の入手方法を確認し、効果的な情報発信のツールを検討する。
地球温暖化対策に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の取組について 10 項目の取組設定、4 段階選択の単一回答 行政の取組について 8 項目の取組設定、4 段階の単一回答 	○	●	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の取組について⇒5.② 行政の取組について⇒5.③
② 事業者への期待	<ul style="list-style-type: none"> 事業者の取組事例を示し、複数回答 		●	事業者の取組の優先度を把握する、事業者の取組を支援する施策を検討する。
③ 市への期待	<ul style="list-style-type: none"> 市の取組事例を示し、複数回答 		●	市の取組の優先度を把握する。市の施策について検討する。

4. 設問構成(案)

①市民

設問	個別項目	選択肢
1. 属性	・ 年代、性別、職業、世帯人数、地域、住居形態【単一回答】	—
2. 環境に対する満足度・重要度	【それぞれ単一回答】 ・ 生活環境（大気・水質・土壌・生活基盤・騒音・廃棄物等） ・ 自然環境（緑の豊富さ、野生生物の生息、自然の眺め等） ・ 快適環境（公園や広場、都市の緑化、まちなみ等） ・ 地球環境（再生可能エネルギーの導入等） ・ 循環型社会（廃棄物の処理等）	①満足、②やや満足、③どちらでもない、④やや不満、⑤不満
		①重要、②やや重要、③どちらでもない、④あまり重要ではない、⑤重要ではない
3. 環境に優しい取組の状況【単一回答】	【それぞれ単一回答】 ・ COOL CHOICE、ごみの減量、リサイクル、清掃活動 等	①常に実施している、②時々実施している、③未実施だが今後実施したい、④実施する気はない
4. 環境保全活動への参加状況	参加状況【単一回答】	①積極的に参加していきたい ②都合のつく範囲で参加していきたい ③興味のある活動であれば参加していきたい ④自分1人でなく、友達や仲間と一緒にであれば参加していきたい ⑤参加したいと思うが、忙しくてなかなか参加できない ⑥参加したいとは思わない
	参加したいと思わない理由（「参加したいと思わない」回答者のみ）【複数回答】	①環境保全活動に興味がないから ②参加しても結局何も変わらないと思うから ③日常生活が多忙であり、環境について考える余裕がないから ④年齢・健康・体力的に無理だと思うから ⑤市民ではなく、行政や事業者だけで取り組むべきことだと思うから
5. 省エネ・再エネ機器等の導入	【それぞれ単一回答】 ・ LED照明、蓄電池、省エネ住宅、太陽熱利用機器、太陽光発電、薪・ペレットストーブ、薪ボイラー等	①導入している、②導入を検討している、③導入するつもりはない、④わからない

設問	個別項目	選択肢
6. ZEH 化の意向、促進に向け必要な施策【単一回答】	—	①導入している、②導入を検討している、③導入するつもりはない、④わからない
7. ZEH 化促進に向け必要な施策【複数回答】	—	①補助事業の実施、②相談窓口の設置、③広報誌や web による情報発信、④イベント等での普及啓発
8. PPA の実施意向【単一回答】	—	①実施している、②実施を検討している、③実施するつもりはない、④わからない
9. PPA 促進に向け必要な施策【複数回答】	—	①補助事業の実施、②相談窓口の設置、③広報誌や web による情報発信、④イベント等での普及啓発
10. EV の実施意向【単一回答】	—	①導入している、②導入を検討している、③導入するつもりはない、④わからない
11. EV の導入促進に向け必要な施策【複数回答】	—	①補助事業の実施、②充電施設の増加、③相談窓口の設置、④広報誌や web による情報発信、⑤イベント等での普及啓発
12. 再エネ 100%電力の利用意向	—	①高くても利用したい、②料金が変わらなければ利用したい、③再エネ由来の電力に関心はない、④分からない
13. 再エネ 100%電力の利用に向け必要なこと	—	①相談窓口の設置、②広報誌や web による情報発信、③イベント等での普及啓発、④その他
14. 畑地の所有	畑地の所有【単独回答】	①所有している、②所有していない
	所有している畑地の面積【記述】	※自由記述
15. 畑地の状況	畑地の状況、それぞれの割合【記述】	①営農している、②耕作放棄地（再生可能）、③耕作放棄地再生困難 ※それぞれ、全体の中の占める割合を記載
16. 畑地周辺での自身の電力使用	—	①使用している（農産加工、水耕栽培、自宅）、②使用していない
17. ソーラーシェアリングの導入意向【単一回答】	—	①導入している、②導入を検討している、③導入するつもりはない、④わからない
18. ソーラーシェアリングの導入促進に必要な施策	—	①補助事業の実施、②相談窓口の設置、③広報誌や web による情報発信、④イベント等での普及啓発

設問	個別項目	選択肢
19. 出雲市内で実施すると良い再生可能エネルギー利用は何か	【それぞれ単一回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模な太陽光発電（メガソーラー） ・ どの家にも太陽光発電が設置されている街並み ・ 法面での太陽光発電 ・ ため池での太陽光発電 ・ 風力発電（高さ 100m 以内） ・ 風力発電（高さ 10m 程度） ・ 水力発電（山間部のダム） ・ 水力発電（水路等に設置する水車） 	<ul style="list-style-type: none"> ①導入・拡大すべき ②現状維持 ③導入・拡大してほしくない ④分からない
20. 環境に関する情報をどこで得たいと思うか【単一回答】	—	<ul style="list-style-type: none"> ①市 HP、②市広報誌、③セミナーや講習会、④SNS、⑤メルマガ、⑥その他
21. 市民による環境に向けた取組についてどのように思うか	【それぞれ単一回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・ COOL CHOICE の実践 ・ 省エネ・再エネ機器購入 ・ セミナー等への参加 ・ 森林法全活動等への参加 等 	<ul style="list-style-type: none"> ①重要であり、具体化すべき ②重要ではあるが、実行が難しいと思われる ③重要とは思わない ④分からない
22. 業者による環境に向けた取組についてどのように思うか	【それぞれ単一回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に配慮した製品の製造 ・ 環境に配慮した製品の販売・品揃えの充実 ・ 商品の包装の簡素化 ・ 食品ロス削減に向けた取組 ・ 省エネ・再エネ設備の導入 ・ 地域で行われている環境保護活動への積極的な参加 ・ 環境保全や省エネ等に関する住民を対象とした勉強会への講師派遣 ・ 植林等森林保全活動への参加 等 	<ul style="list-style-type: none"> ①重要であり、具体化すべき ②重要ではあるが、実行が難しいと思われる ③重要とは思わない ④分からない

設問	個別項目	選択肢
23. 市による環境に向けた取組についてどのように思うか	【それぞれ単一回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設での省エネ行動の実践 ・ 公共施設に率先して省エネ・再エネ機器の導入 ・ 学校や自治会での地球温暖化や省エネ学習の開催 ・ 省エネ行動や機器、制度について分かりやすい情報の提供 ・ 環境保護活動等の普及啓発に関するイベントの実施 ・ 省エネ住宅・建築物の整備に対する支援・指導 ・ 環境や地球温暖化対策への市独自の支援・助成 等 	①重要であり、具体化すべき ②重要ではあるが、実行が難しいと思われる ③重要とは思わない ④分からない
24. 地域活動団体による環境に向けた取組についてどのように思うか	【それぞれ単一回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に関する取組の実施（清掃による環境美化等） ・ 市民が環境について学ぶ機会の提供（イベントの実施等） ・ 環境に関する情報の発信 ・ 環境保全活動を行う団体等に関する情報の発信 等 	①重要であり、具体化すべき ②重要ではあるが、実行が難しいと思われる ③重要とは思わない ④分からない

②事業所

設問	個別項目	選択肢
1. 属性	【それぞれ単数回答】 業種、従業員数、建物の種類、省エネ法における特定事業者の該当	—
2. 環境に対する満足度・重要度	【それぞれ単数回答】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活環境（大気・水質・土壌・生活基盤・騒音・廃棄物等） ・ 自然環境（緑の豊富さ、野生生物の生息、自然の眺め等） ・ 快適環境（公園や広場、都市の緑化、まちなみ等） ・ 地球環境（再生可能エネルギーの導入等） 循環型社会（廃棄物の処理等）	①満足、②やや満足、③どちらでもない、④やや不満、⑤不満 ①重要、②やや重要、③どちらでもない、④あまり重要ではない、⑤重要ではない
3. 環境にやさしい取組の実施状況	【それぞれ単数回答】 COOL COICE、省エネ診断、環境に配慮した製品の製造や販売、環境保全活動への取組、食品ロスに関する取組 等	①常に実施している、②時々実施している、③未実施だが今後実施したい、④実施する気はない

設問	個別項目	選択肢
4. 環境にやさしい取組を実施していない理由実施状況	【それぞれ複数回答】 COOL COICE、省エネ診断、環境に配慮した製品の製造や販売、環境保全活動への取組、食品ロスに関する取組 等	①資金の不足、②人材の不足、③ノウハウの不足、④手間や時間がかかる、⑤事業所内での意思統一を図るのが難しい
5. 省エネ・再エネ機器等の導入	【それぞれ単数回答】 LED照明、建物の断熱化、給湯設備の更新、太陽光発電、蓄電池、太陽熱利用設備 等	①導入している、②導入を検討している、③導入するつもりはない、④わからない
6. ZEB 化の意向【単数回答】	—	①導入している、②導入を検討している、③導入するつもりはない、④わからない
7. ZEB 化の促進に向け必要な施策【単数回答】	—	①補助事業の実施、②相談窓口の設置、③広報誌やwebによる情報発信、④イベント等での普及啓発
8. PPA の意向【単数回答】	—	①実施している、②実施を検討している、③実施するつもりはない、④わからない
9. PPA の促進に向け必要な施策【単数回答】	—	①補助事業の実施、②相談窓口の設置、③広報誌やwebによる情報発信、④イベント等での普及啓発
10. EV 導入の意向【単数回答】	—	①導入している、②導入を検討している、③導入するつもりはない、④わからない
11. EV 導入促進の促進に向け必要な施策【単数回答】	—	①補助事業の実施、②充電施設の増加、③相談窓口の設置、④広報誌やwebによる情報発信、⑤イベント等での普及啓発
12. 再エネ 100%電力の利用意向【単数回答】	—	①高くても利用したい、②料金が変わらなければ利用したい、③再エネ由来の電力に関心はない、④分からない
13. 再エネ 100%電力の利用に向け必要なこと【単数回答】	—	①相談窓口の設置、②広報誌やwebによる情報発信、③イベント等での普及啓発、④その他
14. 環境に関する情報をどこで得たいと思うか【単数回答】	—	①市 HP、②市広報誌、③セミナーや講習会、④SNS、⑤メルマガ、⑥その他

設問	個別項目	選択肢
15. 環境に向けた取組について、業者が実施すべきこと	<p>【それぞれ単数回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に配慮した製品の製造 ・ 環境に配慮した製品の販売・品揃えの充実 ・ 商品の包装の簡素化 ・ 食品ロス削減に向けた取組 ・ 省エネ・再エネ設備の導入 ・ 地域で行われている環境保護活動への積極的な参加 ・ 住民を対象とした勉強会への講師派遣 ・ 植林等森林保全活動への参加 等 	<p>①重要であり、具体化すべき、②重要ではあるが、実行が難しいと思われる、③重要とは思わない、④分からない</p>
16. 環境に向けた取組について、市に期待すること	<p>【それぞれ単数回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設での省エネ行動の実践 ・ 公共施設に率先して省エネ・再エネ機器の導入 ・ 学校、自治会、事業所での地球温暖化や省エネ学習の開催 ・ 省エネ行動や機器、制度について分かりやすい情報の提供 ・ 環境保護活動等の普及啓発に関するイベントの実施 ・ 省エネ住宅・建築物の整備に対する支援・指導 ・ 環境や地球温暖化対策への市独自の支援・助成 等 	<p>①重要であり、具体化すべき、②重要ではあるが、実行が難しいと思われる、③重要とは思わない、④分からない</p>

市民・事業者アンケート調査 設問用語説明

※ 1. COOL CHOICE

「COOL CHOICE」は、CO2などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など、日々の生活の中で、あらゆる「賢い選択」をしていこうという取組。

■ COOL CHOICE 取組例

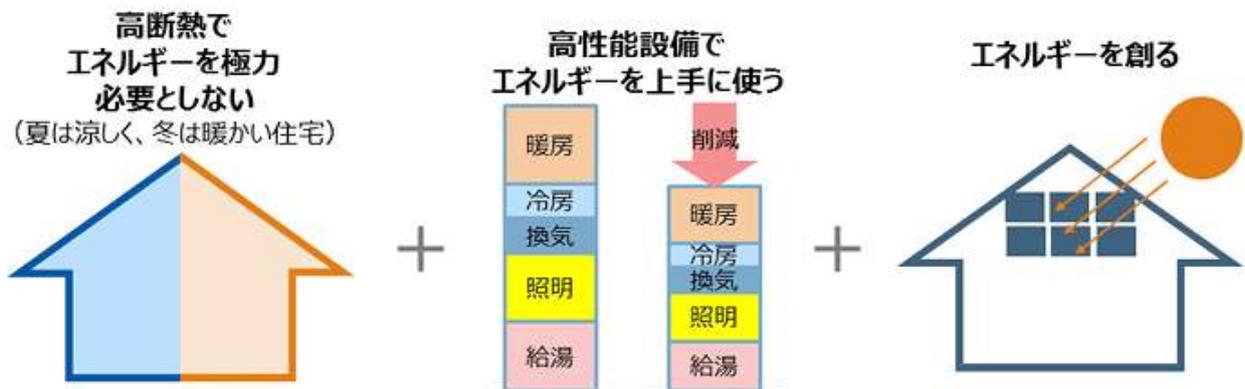


資料：環境省「今日からはじめるクールチョイスガイドブック」

※ 2. ZEH・ZEB

「ZEH」(net Zero Energy House (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス))・「ZEB」(Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス))とは、「エネルギー収支をゼロ以下にする家(建物)」のことを指す。家(建物内)で使用するエネルギーを減らしつつ(高断熱化等による省エネ)、太陽光発電等エネルギーを創り、1年間で消費するエネルギーの量を実質的にゼロ以下にする。「地域脱炭素ロードマップ」では、「2030年度時点で新築建築物の平均でZEH・ZEB化が実現」が目標として掲げられている。

■ ZEHの内容



資料：経済産業省 省エネポータルサイト

※3. PPA

PPA (Power Purchase Agreement) とは、電気を利用者に売る電力事業者 (PPA 事業者) と、需要家 (電力の使用者) との間で結ぶ「電力販売契約」を指す。

このモデルでは、電力の需要家が PPA 事業者に敷地や屋根などのスペースを提供し、PPA 事業者が太陽光発電システムなどの発電設備の無償設置と運用・保守を行う。また同時に、PPA 事業者は発電した電力の自家消費量を検針・請求し、需要家側はその電気料金を支払う。

■PPA モデルイメージ



資料：環境省 HP

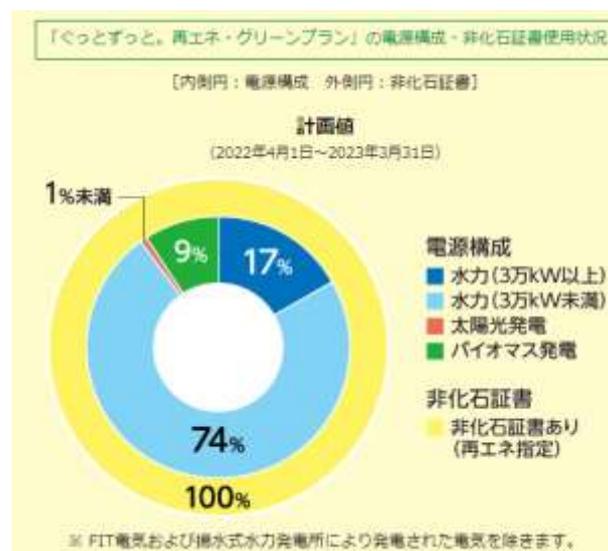
※4. 再エネ 100%電力

使用する電力の 100%を、再エネで発電された電力で賄うことを指す。再エネで発電された電力の調達方法は以下のとおり。

自家発電：電力の需要家自らが発電し、自家消費する。

- 購入：①敷地内に設置した、他者が保有する発電設備から購入する。
 ②敷地外に設置した発電設備から、送配電事業者を通じて直接購入する。
 ③電力小売会社が提供する再エネ 100%電力の契約メニューを利用する。等

■中国電力の再エネ 100%電力契約メニュー「ぐっと再エネ・グリーンプラン」



資料：中国電力 HP